

校長室より

「二松から飛翔へ」

二松学舎大学附属高等学校
校長 鶴飼敦之

心と身体のリフレッシュ！！

入学、進級から1ヶ月半が過ぎました。新しい環境で、授業や部活動、探究などめまぐるしい人もあったかもしれません。忙しかったですか？ 充実していましたか？ 疲れていますか？ GWはうまくリフレッシュできましたか？ ぼ～っとした人もいれば、空や山や海をゆっくりと眺めて気持ちをリラックスできた人もいることでしょう。

「忙しい」の「忙」は、りっしんべんの「心を亡くす」と書きます。また、「忘れる」の「忘」も「心を亡くす」です。

「忙」という字の「りっしんべん」は、「心に何かを寄り添う」ことを表し、「外的な要因で心が動かされる」という意味を持ちます。山のように仕事を振られた時のように、外からの力によって心を亡くした時に使う漢字です。「忘」という字の「こころ」は、「心の上に何かを載せる」ことを表し、「自らの意志による心の動き」という意味を持ちます。嫌なことから目を背けたい時のように、自分で自分の心を亡くした時に使う漢字です。毎日の行事に追われていると、外からも内からも心を奪われることが多くなります。心を奪われないように、志を持って様々な事に取り組むよう心掛けたいものです。

「忙しいことは良いこと」みたいなことを言います。何もすることがないと心に支障を来すこともあるので、間違っていないのかもしれませんが、しかし、忙殺は困ります。私は自分の体と心がどうかだと思えます。自分の身体と心に向き合い、休息の取り方、リフレッシュの仕方、やりたいことは何なのか、バランスの取り方の方法を見つけていきましょう。

さて、中間テストが迫ってきました。今週の週訓は「中間考査に向けて計画的に勉強しよう」です。抜かりなく進めましょう。

部活動応援 ～女子硬式テニス部～

運動部の各部ではインターハイ予選が開催されています。顧問の先生方から皆さんの活躍の様子が週末ごとに伝えられています。

5月12日(日)、女子テニス部団体戦が立川高校で開催され、応援に行ってきました。ダブルス1本とシングルス2本の計3試合の対戦で、相手は都立神代高校。ちょっと肌寒い気候でしたが、各対戦とも粘り強く戦ってくれました。テニスの応援は声援による応援が禁止。コートサイドから『二松ガンバレ』と声を掛けたいところでしたが、



ぐっと我慢。拍手のみでプレーを応援しました。ジュースの連続で接戦となり、もう少しで勝利か？ と思えたゲームもありましたが、結果はいずれも敗れ団体戦は敗退となりました。

3年生は一線からは退きますが、1年生の指導等で当面部活動にも参加してくれるそうです。伝統の引継ぎをしっかりとお願いします。

「学舎」・「チューター」・「松ぼっくり」始動

本校独自の校内学習システムがそれぞれスタートしています。3年生は今年も国数英の外部講師を招聘した「学舎(まなびや)」。1年生は「松ぼっくり」で大学生メンターによる学習支援。そして、本校OBチューターによる学習・進路相談など。

様々なプログラムをぜひ有効に活用してください。

それぞれの機会を活用するしないはあなた次第。自ら積極的にコミットして学習に役立ててください。

